



三条北ロータリークラブ週報

ROTARIANS — UNITED IN SERVICE —
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン — 奉仕に結束 — 平和に献身
国際ロータリー会長 チャールズ・C・ケラー 第256地区ガバナー 安藤文夫

例 会 日
1987. 10 . 27
累 計 No 46
当 年 No 16

会 長／樋 口 金 占

幹 事／平 松 利 朗

S A A／芦 田 義 重

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-13-25
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： 職場例会「三条中央青果物卸売市場」

出 席： 本日の出席 36名中34名

先週の出席率 36名中35名 97.22%

先週のメークアップ： 10月21日 三条RCへ 大野新吉君 河井増雄君

10月26日 三条南RCへ 山上茂夫君 笹原勝治君

ヴィジター： 三条RCより 堀越信実君

会 長 挨拶： 樋口会長

おはようございます。早朝からご苦勞様です。おおぜいの方からご出席いただきまして有難うございました。青果市場見学と言うことで、異業種のかたから是非見学していただき何か参考になればと思っております。どうぞ自由に見学下さい。

幹 事 報 告： 平松幹事

◇地区大会部門別協議会出席者は報告書を10月30日(金)迄に三条新聞社宛ご持参下さい。

◇三条南RCより、去る16日(金)に行われました「デュオの夕べ」コンサートの実施報告と礼状が届いています。

◇会員増強率30%で第1位になり、地区年次大会席上表彰されました。

市場についての説明：

中央卸売市場、地方卸売市場の二つに大別されています。中央卸売市場の方は全国で114社あり農水産省管理、地方卸売市場は全国約1600社あり都道府県監督になっています。新潟県内では新潟中央卸売市場1社、地方卸売市場は16社でそのうちわけは公設市場1社、上越第3セクター方式1社、あとは民営市場となります。卸売市場は開設者と卸売人で構成されています。公営とは開設者が公共の者であって、卸売人はそれを借り受け使用料を払って営業しています。民営とは開設者が民間経営者で卸売人がそれを借用しています。三条では開設者、卸売人共、同じであります。昭和40年市内の卸売業者4社が合併して市場を開設し現在に至っています。市場の内容は敷地面積5千

れぞれ専門的に詳しく説明があり、又会員から多くの質問が寄せられ最後に西村（新潟クラブ）バスターガバナーからカウンセラーと言うことで補足説明がありました。

私の担当の米山奨学は①米山奨学の歴史②留学生の受入派遣の指導③米山奨学の事業の3項目について米山奨学に大変ベテランの三浦サブリーダーからていねいにわかりやすく説明があり、皆さん理解をしめされた様子で有意義な勉強会でした。

又、白川衆議員議員が夏期交換学生第一号（十日町クラブ）と云う事。昨年度会員増強優秀クラブ表彰第一位で、樋口会長が授与され、昨年の会員増強委員のメンバーとして大変うれしい大会の1日でありました事を報告致します。

ロータリー財団及ポリオプラス

村 山 誠 一

この協議会に当三条北RCより白崎君と私が出席いたしました。先ず財団の基金について“何に” “どれ位” “どう使われているか” を認識して（予算額が発表されております）BOXへの協力を依頼し、多くのメンバーから基金を集めて下さい。次に奨学金支給についての話しがありました。ロータリー奨学生は、ロータリー基本理念に伴い、その責務を負う……いわゆるその成果を地域に還元する事が条件とされているのが他の奨学生と違うところです。奨学生1名につき約300万円位かかります。条件として申請書類完備、充分な語学力、明確な勉強目的が条件です。書類は大変面倒で今年度第256地区32名中1回でパスした人は1名だけです。又語学力は通常会話程度では駄目で授業についてゆける位の語学力が必要でかなり高度な語学力を必要とします。又あいまいな目的の奨学生希望は駄目で、どこの学校のどの学部でどういう事を勉強してどう役立てるか明快な目的意識が必要との事です。原則としてオックスフォード・ケンブリッジ等超一流校へは志望できず年間授業料5,000ドル以下の学校に限っている様です。

最後にポリオプラスですが、これについては安藤ガバナーの今年度目標の大きなものの一つであり委員会設置をして取組んでおります。5年間で会員1名40,000円拠出が原則で、年間¥8,000—となります。日本では全世界予算の20%を受け持っており1人年間¥8,000—あれば達成出来ます。又確実に達成の見込みはついております。故に8,000円を越す拠出は現在のところ期待しておりません。その分は他の基金（ロータリー財団や米山奨学）にまわして下さい。又ポリオプラス—辺倒となり過ぎて他の基金への拠出がおろそかになる様な事はやめて下さい。

以上が年次大会部門別協議会のロータリー財団とポリオプラスの報告です。

次 週 例 会： 11月7日 吉田RCと合同例会 橋畔楼

次々週例会： 11月17日

5百坪（関係建物2千5百坪、駐車場3千坪）であります。

1日の市場出入り業者は大体1千名位です。従業員50名、年間売り上げ75億円、場内出店数16店舗、青果店数6店舗となっています。

登録買受人数は三条、燕、加茂、見附、今町、栃尾で312名です。年間入荷量、果実約1万5千トン、蔬菜2万トンの入荷販売量です。果物は皆様の嗜好にあうべく生産者が時期のものを非常な努力で出荷販売されています。年間を通じて殆どのものが季節を問わず入荷しています。季節感が無く国内で間に合わなければ世界各国から日本に向け輸出されるようになっています。

地区年次大会部門別協議会報告

会長・幹事会

平 松 利 朗

冒頭、藤田直前ガバナーより前年度の功績に対しMAT.カパラス会長賞を頂戴した旨の披露があった。続いて地区委員会報告があり、藤田直前のクラブ奉仕委員会を皮切りに、上野（職業奉仕）、渡辺（社会奉仕）、菊地（国際奉仕）、広沢（青窓年活動）、太田（ロータリー財団）、牛久保（米山奨学）、斉藤（地区拡大）の順で各バストガバナーが簡潔に報告を行った。特に記憶に残ったものとしては、高齢者問題は日本にとって特に深刻であり、RC内にとどまらず、広く地域社会に対しても積極的に取組むべく「マニュアル」を12月刊行する。また、最近RCの奨学金、留学制度に人気が集まり、初めて選考試験を行ったほどである。1人年間11,000ドルもかかるのだから、ムダ使いにならぬよう有効に活用するようつとめたいということであった。

また、ライラ報告に関連して青少年を派遣する時は、出掛ける時は激励し、帰った時は労いの言葉をかけてやって欲しいと要望があった。

最後に、大会決議案の審議、採択と1989～'90年度ガバナーを選任して分科会を終った。

クラブ奉仕委員会

今 井 克 義

委員会で話し合われた要旨を報告いたします。

ロータリークラブはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の4つの柱から成り立って活動を行っている。その中で基礎となるのがクラブ奉仕活動である。クラブ奉仕部門が整っていてこそ他の活動がスムーズにいく。クラブ奉仕活動には親睦や、情報の交換、伝達などいろいろあるけれど、基盤となるのが拡大と増強である。従ってロータリークラブは、拡大と増強を常に考えていかなければならない。しかし、遮＝無＝増強を考えることは邪道である。ロータリーの活動を世間によく知らしめ、理解してもらってこそ進んで入会者も増え増強を達成できる。又、増強を図るときに大切なことは退会者を出さぬことである。第256地区でも一年間の入会者約400人に対して退会者

国際奉仕部門

山 崎 勲

高崎市群馬音楽センター2階ロビーで開かれた“交換学生と米山奨学生”では先ずサプリーダール小林英雄君（三条RC）の夏季交換学生について説明があり交換学生は一年交換が本式であり、夏季交換学生は地区独自の行事であり、夏季交換学生はロータリアンの子弟に限られ、良い制度だが辞退するクラブもあるが、256地市は熱心な地区である。夏季交換は昭和37年十日町クラブから始まり、49年50年からは新潟8名、群馬8名、計16名ずつ交換している。交換学生については受入れ側の家庭の理解が必要であり、又国際親善に大きく寄与している。来年度のアメリカ側の受入れは532地区に決定している。最後に確認事項として、新クラブが承認され11月末までに申請できれば第一順位になり、辞退した場合は最下位になる。又途中で中止した場合でも受入れは計画通り実施しなければならない。順位が繰り上がり急拠送り出しをした場合は順位はそのままになるとの説明で夏季交換の説明が終り、続いて一年交換学生についてサプリーダール福島秋夫君（前橋西）から説明があり、日米の学校制度の違いから4月に送り出しを行うことができず、8月派遣になる場合がある。本年は9月末メ切10月10日面接（高崎）で7名の学生をオレゴン・ミネソタ等に送り出す。申請書類は若干簡単になり英文2通日本語1通合計3通になった。国情の違いから派遣時18歳を越えた場合は受入れをされない時もある、夏季交換との違いはロータリアンの子弟に限らない。又選考等のためクラブ内の推薦は1名にしてほしい。受入れの方もしっかりやってもらいたい。その場合カウンセラーを1名つけてほしい（学生と家庭・学生と学校などの調整役）何よりも事故に気を付けてほしいとの話で終了、続いてカウンセラー西村二郎君（新潟RC）の全体の講評・質疑応答で無事終了しました。

米 山 奨 学

米 山 忠 俊

私は米山奨学委員として樋口会長他9名で10月24日高崎での年次大会に行って来ました。米山奨学は部門別協議会では国際奉仕部門に所属して行われたので山崎国際奉仕委員長と一緒に参加し勉強してまいりました。委員会は13時から始まり14時40分まで1時間40分たっぷりついやし、矢尾（伊勢崎）リーダールの司会で「交換学生と米山奨学生」というテーマで進められました。

①夏期交換学生については小林（三条クラブ）サプリーダール②一年交換学生については福島（前橋西クラブ）サプリーダール③米山奨学部門については三浦（館林西クラブ）サプリーダールから、そ

余裕金・満期金はひとまず

ホーム財テクの主役

中期国債ファンド

新和証券

三条営業所

電話 (0256) 34-2151 (代表)
FAX (0256) 35-5445